



上の画像の、房の結び方を何というのかご存知ですか？
「あげまき結び」といい、「総角結び」とか「揚巻結び」と書きます。
古くから良く用いられた飾り結びの一種で、神前幕をたぐり上げたり、御社殿の御簾（みす）を巻き上げる房の結び方です。



大相撲で「青房下」とか「赤房下」と言いますよね。
この四色の房「青・赤・白・黒」の結びも「あげまき結び」です。

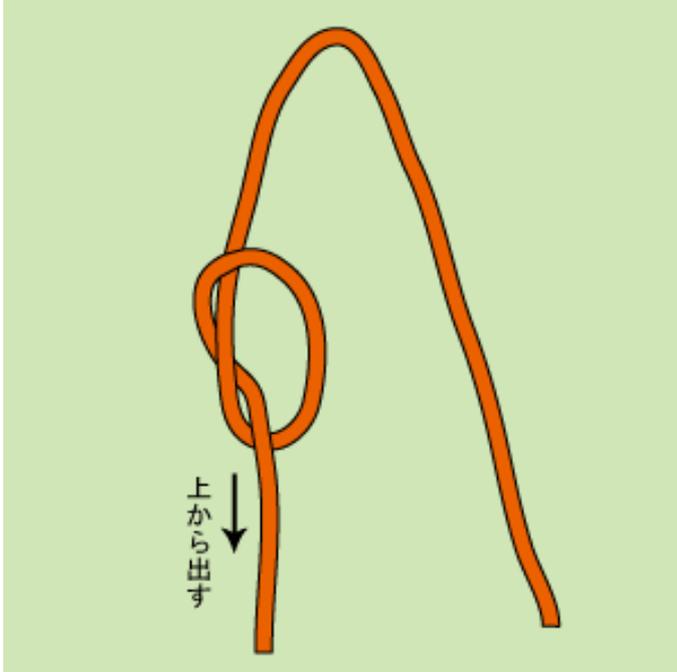


神社の調度品でよく見る結び方ですが、意外と神社の関係者の皆さんでも結び方を覚えていな人が多く、蝶々結びでごまかす人がいます。（?）

■ 神社や屋台の飾り付けに必要な、この「あげまき結び」の結び方を
皆さんに、絵の順番でご紹介しますので、是非覚えてください。

=====

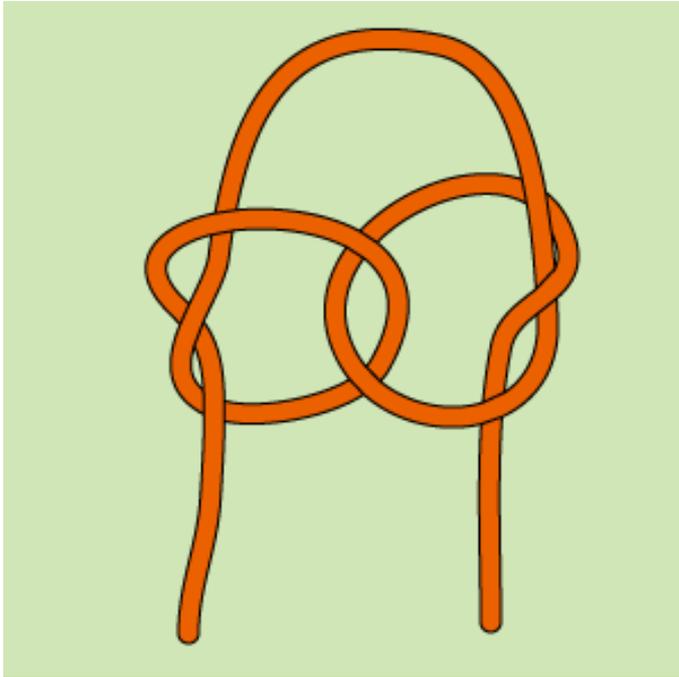
1. まず、紐の左側で普通に一卷きします。
この時、左端を手前の上から通して出すのがポイント



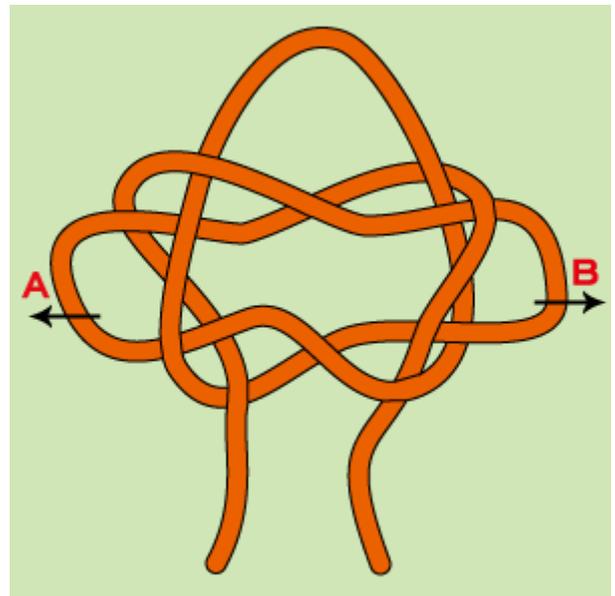
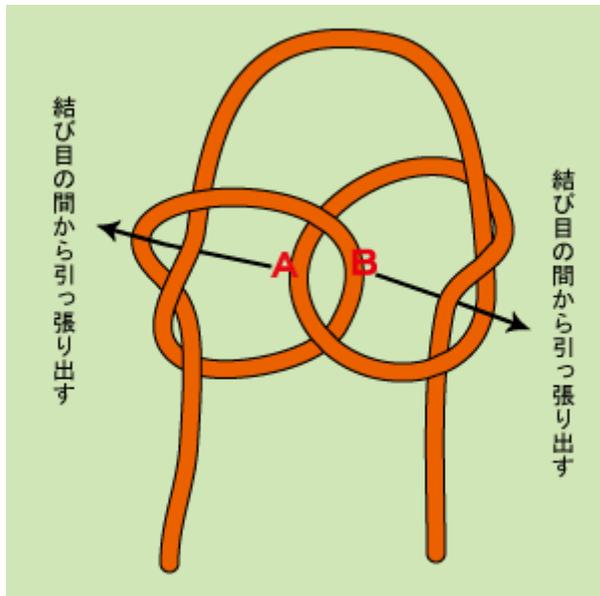
2. 次に左に出来た輪の部分に、右の紐で手前下から上に通し
後ろ上から紐を、ねじるように右端を通します。



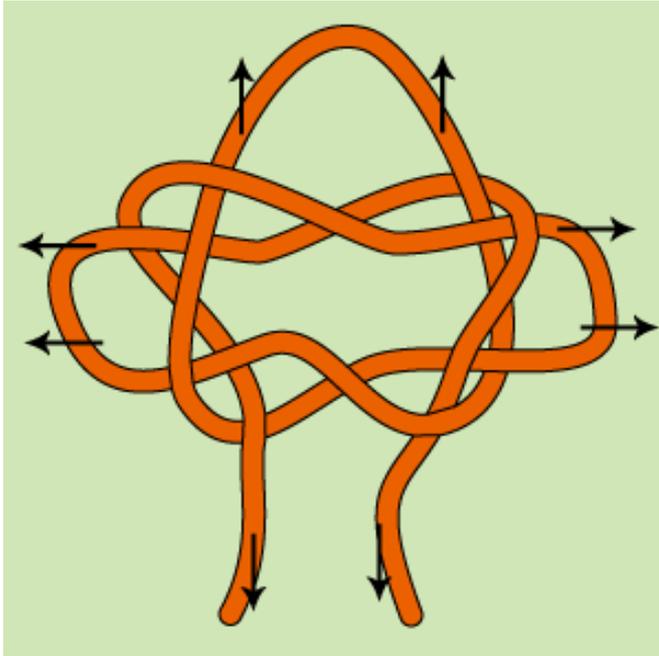
3. すると、左右が共に一巻きした状態の下の絵の状態にすると
紐の真ん中で交差した、メガネのような形になっているはず



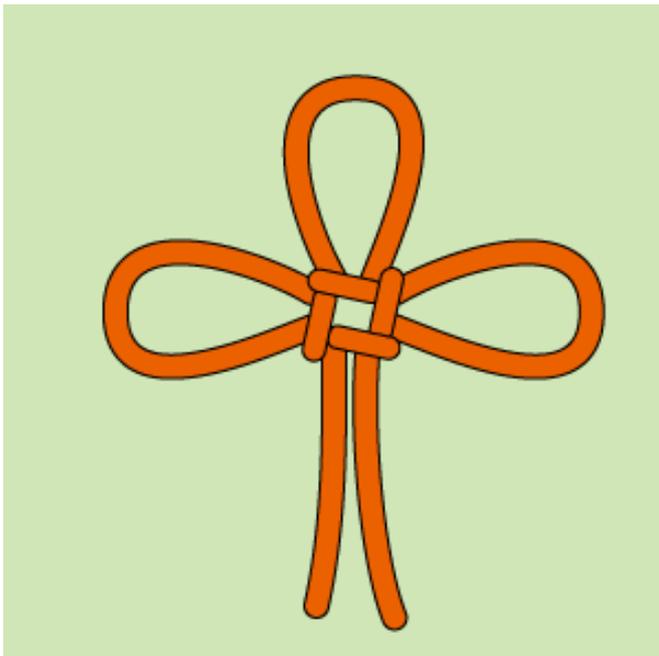
4. 次に、左右の結び目の部分の間から指を入れて(左の画像を見る)
、AとBの部分と同時に均等に引き出します(右の画像を見る)



5. それぞれの矢印の部分をしつづつ引っ張って、締めていきます。



6. 最後に上下左右をバランスよく引っ張って、形を整えてしっかり締めれば完成。





真ん中の、結び目の所に注目してください。
紐の重なりが「入」になっています。これを「入形」というそうです。
私たちの祭りや神社では、この「総角結びの、入り型」で結びます
総角結びは、魔よけの結び方ですから是非覚えて下さい

逆に、下のように「人」になっているのは「人形」というそうです。
これは鎧兜の装飾に用いられるそうです。



「入形」と「人形」の違いがお分かりいただけるでしょうか？
ちなみに、この「人形」の「あげまき結び」の結び方は、最初の1で
左側で、奥から手前に反時計方向に回してから紐をねじり下げ、
右側では、反対に手前から奥に、時計方向に回してねじり下げれば出来ます。